

小・中学生に葉書がプレゼントされました



7月に野木ライオンズクラブ国際協会の黒須栄一会長より、町内の小中学生全員に官製はがき（かもメール）が贈られました。

今回で7回目になり、子どもたちはお世話になった方へ暑中お見舞いを書いたり、離れて暮らす祖父母に手紙を書いたりしました。

心に残るプレゼント、大変ありがとうございました。

中学生の代表が 広島平和記念式典に参加しました

8月6日（土）に広島市で開催された広島平和記念式典に野木町中学生の代表として、野木中学校、野木第二中学校の2年生それぞれ2名の代表が小山市と結城市の代表と共に参加し、平和への思いを深くして帰町しました。

詳しい報告は10月号でお知らせいたします。



熊本地震被災地支援物資 「慈愛園」からお礼の手紙が届きました

熊本地震被災地支援物資の提供につきましては、多くの皆様に御協力をいただきまして、誠にありがとうございました。

6月24日（金）に熊本市の社会福祉法人「慈愛園」に送らせていただきましたところ、慈愛園子供ホームからお礼の手紙が届きました。

被災地では余震や二次災害など、復興までまだまだ時間を要する状況です。今後とも息の長い復興支援へのご理解とご協力をお願いいたします。

→お礼の手紙、広報紙「きっず」44号は、町ホームページでもご覧いただけます。

熊本県野木町 町民の皆様

去る4月14日、16日の熊本地震から早2か月半が過ぎました。皆様方にはお変わりございませんか。震災発生からの2週間は、記録を見ない限り思い浮かんで来ないほど極度の混乱が続きましたが、多くの皆さんに支えられながらここまで無事にやって来られたこと感謝に絶えません。

この度、野木町の皆様方から、多くの物資をご提供いただき、慈愛園の利用者、職員たちを元気づけていただいたことに心より感謝申し上げます。

県下では未だに、多くの方々が避難生活で不安な生活を余儀なくされておられるところですが、幸い当園の子どもたちは学校にも元気に通い、やっど普段の日常が戻りつつあります。お寄せいただいた物資につきましては、赤ちゃんから高齢者まで300名が生活をしておりますので備蓄用として存分に活用ができます。

最後になりましたが、子どもたち、そして職員たちがこの震災を通して、多くの方々との出会いや、多くの気づきと学びを得ることができました。とりわけ当園の子どもたちの地元避難所での活躍は大きく取り上げられ、子どもたちの自信にも繋がり、そのことによって私たち大人がエネルギーをいただいたと思います。今後子どもたちや地域の皆様と共に手を携えて熊本の復興に貢献したいと思っています。

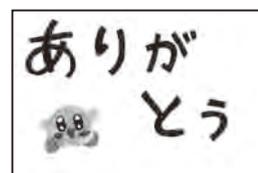
ささやかではありますが、年少の子どもたちの手作りの絵手紙を同封いたしました。どうぞご笑納下さいませ。また、当園の広報紙「きっず」44号を同封いたします。紙面の関係で震災関連の皆さま方の善意については、別紙にて掲載させていただきますのでご了承ください。

今後とも子どもたち、そして職員たちをどうぞお支えいただきますようお願い申し上げますと共に、皆様方のご健勝を心よりお祈り申し上げ、感謝の意を尽さませんが、御礼の言葉とさせていただきます。

平成28年7月1日

慈愛園子供ホーム 園長 緒方 健一

子どもたちから届いた
手作りの絵手紙



地籍調査推進員が委嘱されました



本町では、今年度から潤島Ⅰ地区について、地籍調査事業を実施するため、7月1日(金)に次の5人の方に地籍調査推進員を委嘱しました。

【潤島Ⅰ地区】写真左より（敬称略）
須田一誠、栗原英一、須田勉、新井敏夫、新井啓司

地籍調査推進員は、実施区域の調査が円滑かつ適正に遂行できるよう任務にあたっていただきます。

投稿 体すつきり、気分爽快!! 健康教室開催

潤島福寿会

潤島福寿会は6月29日(水)、潤島公民館で町健康福祉課職員と協医大看護学部学生4名を講師に招いて健康教室を開催しました。血圧測定から始まり、体にやさしい食生活に関する座学の後に、転倒防止のための座ったままでできるストレッチ体操(首まわし・足首・股関節・太もも・背筋のひ等)を行いました。

学生さんたちの明るく爽やかな笑顔による掛け声や音楽に合わせた指導に、参加者25名は真剣な面持ちで従い、日頃の運動不足も実感、「無理をしないで継続的にやってください」のお話にも納得させられました。終了後のお茶の時間には学生さんたちとの楽しい会話で盛り上がり、体すつきり、気分爽快の有意義な健康教室となりました。



投稿

第44回 野木町ソフトテニス選手権大会

野木町ソフトテニス連盟

「第44回野木町ソフトテニス選手権大会」を6月12日(日)、野木町総合運動公園にて開催しました。天候にも恵まれ総勢62名(一般の部20名、小学生の部42名)と多数の参加がありました。

小学生の部は、3つのクラスに分かれ、いずれも白熱したゲーム展開となりました。見事入賞されたペアは、初めてもらった表彰状に満面の笑顔を見せてくれました。あと一歩で入賞を逃した子どもたちも、「次は勝つ!」という意気込みから、大会終了後も練習に励んでいる姿も見られました。

また、昨年度から設立した「野木ジュニアソフトテニスクラブ」は、7月末時点で会員47名となりました。野木町ソフトテニス連盟では、たくさんの子どもたちにソフトテニスの魅力を伝え、スポーツを通じて子どもたちの成長に繋がればと考えております。今後ともよろしく願います。



高学年の部



低学年の部B



低学年の部A

野木町煉瓦窯の見学者が 1 万人を突破しました !!



5月10日のグランドオープン以来、県内はもちろん県外からもたくさんの方にご来館いただきました。

7月30日(土)、野木町煉瓦窯の見学者数が1万人を突破し、記念セレモニーが行われました。記念すべき1万人目の見学者である古河市在住の藤井直子さんには認定証と記念品が贈られました。

藤井さんは「(1万人目と聞いて) とにかくびっくりしていますが、とても光栄に思います。」と感想を述べられました。

野木町交流センター「野木ホフマン館」の来館者は煉瓦窯の見学者を含め、21,000人を超えております。今後もたくさんの皆様のお越しをお待ちしております。



藤井直子さん
(古河市在住)

◆煉瓦窯を見学してみてどうでしたか？

(藤井さん) 前から知っていましたが、今回初めて中を見ました。よく100年以上残っているなと感心しました。煉瓦の焼き方がすごく考えられていて、昔の方の知恵はすごいなと思いました。

◆野木町の印象はどうか？

(藤井さん) 野木神社の空気が澄んでいるところが好きで、初詣やお参りなどでよく来ています。ルピナスやひまわりなども毎年見に来ていて、野木町のファンなんです。

第3回 タウンミーティング を開催します

町では昨年に引き続き、町全体の課題について皆さまとご意見を交わす「タウンミーティング」を開催いたします。

今回は、「野木町の魅力発信 ~定住促進に向けて~」をテーマに行います。



野木町に住みたい・住み続けたいと感じてもらうために、何をしていたかなければならないのか、皆さまと考えていきたいと思っております。

皆さまのご来場をお待ちしております。

テーマ

「野木町の魅力発信 ~定住促進に向けて~」

- ◆日時 10月15日(土) 9時30分開場 10時開始
- ◆場所 エニスホール 小ホール
- ◆内容
 - ・町から今年度の重点施策や予算等の説明
 - ・テーマについての現状説明
 - ・テーマについて皆さまと意見交換

◆対象 町在住在勤の皆さま

※申し込みは不要です。直接会場へお越しください。



問政策課 ☎(57)4134